

お知らせコーナー

【まつやまNPOサポートセンターの講座・イベント情報】

日 時・会 場	講 座・イベント名	内 容
2/3(土) 10時～15時 コムズ4F視聴覚室A	【NPOの設立講座】 夢をカタチにするプチ起業 1日セミナー	「何かやりたい！」気持ちをカタチにしませんか？ 「チャレンジしたい何か」を持っている方向けのワーク ショップを開催します。思いをカタチにし、最初の一步を踏 み出しませんか？ お子様連れの参加も大丈夫です。 【参加費】無料 【定員】15名
2/14(水) 10時～12時 コムズ3F会議室2	【NPOの設立講座】 NPOのはじめかた講座	NPO(任意団体)の作り方をお伝えします。 やりたいことが決まっている方に向けての団体設立講座。 法人格を持たないNPOなら、身軽に活動を始められま す。新年度から何か始めたい方はぜひご参加ください。 【参加費】無料 【定員】20名(ぜひ複数でご参加ください)
3/17(土) 10時～12時 コムズ4F視聴覚室B	【担い手支援講座】 助成金申請のコツ講座	審査員に「選ばれる申請書」を書くコツをお伝えします。 助成金はNPOの大事な活動資金源のひとつ。しかし、助 成金に応募したことがない、どう申請書を書けばいいの？ とお悩みの方も少なくありません。専門的なコツと技術が 必要な助成金申請書の作り方をはじめての方にも分かり やすくお伝えします。 【参加費】無料 【定員】20名(ぜひ複数でご参加ください)

サポートセンター年末年始のお知らせ

まつやまNPOサポートセンターは、
12月29日～1月3日の間は、お休みさせていただきます。
なお、12月28日は18時までの開所です。
来年もよろしくお願いいたします。どうぞよいお年をお迎えください。



お問い合わせは まつやまNPOサポートセンターまで

☎ 790-0003 松山市三番町6丁目4-20 コムズ内

Tel: 089-943-5790

Fax: 089-943-5796

Eメール: pico@npo.coms.or.jp



まつやまNPO

検 索

まつやまNPOサポートセンターの情報誌

サポセンだより



2～5P 特集「みんなで作る事業計画」をはじめませんか？

ロジックモデルを使って、関係者全員で1つの計画を作る方法をご紹介します。

6 P お知らせ NPO of the Year2018 参加者募集！

2月24日に開催するNPOのプレゼン大会 参加者募集中です！

7 P レポート 10～12月期 サポートセンター運営状況

10～12月期のサポートセンター運営状況についてお知らせします。

8 P お知らせコーナー



【発行】

まつやまNPO
サポートセンター

特集

「みんなで作る事業計画」をはじめませんか？

多くのNPOでは、そろそろ、次年度の事業計画を立てはじめる時期になるのではないのでしょうか。今回は、今はやりの思考法「ロジックモデル」のご説明を中心に、みんなで作る事業計画を取り上げます。

「みんなで作る」事業計画とは？

NPOは、毎年、「翌年度にやりたいこと」を考える事業計画を作成します。

みなさんの団体では、事業計画はどのように立てられていますか？ 例えば、役員が集まって話し合いで決める、会員みんなが集まって話し合う、あるいは、代表が全部一人で決めてしまう…それぞれの団体によって、やり方が色々あるのではないのでしょうか。

今回は、役員や会員が集まって、みんなで事業計画を作る方法をご提案します。本当は、そうするよりも代表が一人で決めたほうが早いのですが、それだと他のみんなは「代表が決めたことに従う」だけになり、運営に参画する意識があまり育まれません。そこで、今回ご提案するような方法で、みんなが考えるプロセスに参加することで、団体の運営に参画しているという意識が高まると思います。

● みんなで事業計画を作るときのコツ

事業計画をみんなで作るときのコツには、次のようなものがあります。

- ① 情報を共有する 最初に、情報や目標の共有をしっかりと行う。
- ② 時間を決める だらだらとやらず、短いぐらいの時間を決めて行う。
- ③ 代案の提案 批判や反対をするだけでなく、代案を出すようにする。
- ④ 記録をとる 出た意見は、口で言うだけでなく、紙に書いて目に見える形にする。
- ⑤ 最終決定 最終的な決定は、代表が行う。



①については、計画を練るための基本的な情報や、最終的に団体がどうなりたいのかの目標を参加者全員が正しく把握しておくことです。間違った目標をゴールにしている人がいると、議論があらぬ方向に転がっていきます。②についてですが、話し合いはすぐに脱線し、雑談に流れがちです。そこで時間を短くすることで、緊張感を持って進めることが大事です。

③については、生産的な話し合いをするには当然といえることです。ただ、反対する人の意見も尊重することが大事です。④は、言葉は出た直後には消えてしまいますから、後から「あれ？なんて言っていたっけ？」というのを防止するコツです。最後、⑤は、決定権をみんなに委ねすぎると、何も決まらなくなります。ここは代表者として、しっかり意思決定をすることが大切だということです。

レポート

10-12月期 サポートセンター運営状況

10-12月のサポートセンター運営状況についてご報告します。

なお、12月の数値については推計値でお知らせしています。

● 来場者数

10月	275人
11月	296人
12月	264人

● 運営状況の傾向

来場者数は835名でした。また、相談件数は212件、NPOが行う所依続きや、イベント開催に関してのPRや設備利用に関する相談をお受けしました。

今期は法人実務や事業計画等に関する講座を3回開催したほか、10月には「みんなの生活展」にも参加し、市民の皆様へNPOのPRを行いました。

● 相談件数(内容別)

設立関連	19件
実務関連	135件
その他	58件

● 相談件数(相談者別)

NPOから	173件
個人から	12件
その他から	27件

● 開催講座

開催日	タイトル	内 容
11/11	NPO法人の実務講座	NPO法人が1年間を通して行うべき事務作業の説明を行いました。資料はセンターロビーで配布しています。
12/2	事業計画作成勉強会	今回のサポセンだよりでもご紹介している「ロジックモデル」を使い、事業計画づくりの演習を行いました。
12/16	NPOのはじめかた	NPO足の健康さぽーと倶楽部さんをゲストにお招きし、任意団体の設立方法についてご説明しました。

● イベント・講座の様子



みんなの生活展



12/2 事業計画作成勉強会

お知らせ

NPO of the Year 2018 参加者募集！

2月24日に開催する「松山市生涯現役市民活動交流集会」内のイベント、NPOによるプレゼンテーション大会「NPO of the Year 2018」への参加者を募集します。活動をPRしたい皆さん、どうぞふるってご参加ください！！

毎年開催しております、NPOによるプレゼンテーション大会「NPO of the Year」を今年も開催することになりました。前年度は、大街道商店街で開催し、商店街を行きかう多くの市民のみなさまに、各団体活動をPRすることができました。

今年度は、会場をコムズの5階に移し、生涯現役交流集会のステージイベントとして、多くの一般市民、NPO市民活動団体のみなさまの前でプレゼンテーションを行うこととなります。

自団体の活動を広く知ってもらいきっかけとして、今後多くの場所でのPRをする練習として、「NPO of the Year 2018」に参加しませんか？



前年度NPO of the Yearの様子



前年度NPO of the Yearの様子

募集要項

対象：活動をPRしたい団体

定員：先着8団体限定

日時：2月24日（土）

11時～

詳細はサポセンまで。

市民活動交流集会同時開催！

例年、3月に開催しております、市民活動交流集会も、プレゼンテーション大会同様、2月24日に開催する「生涯現役交流集会」内のブース出展として同時開催します。コムズ5階を中心に、今までなかなか交流の機会が無かった新しいNPO市民活動団体のブース出展があったり、おいしい食べ物の販売ブースや楽しい体験ができるブースが数多く出展しています。ぜひご近所の方やご家族などお誘いあわせのうえ、「松山市生涯現役市民活動交流集会」にお越しください。

みんなで作るための段取り

次に、事業計画づくりの段取りをご紹介します。

① 情報と目標を共有する

団体が掲げるビジョンとミッション、それにともなう短期的な目標を説明します。

また、いま進めている活動や、持っている資源等の情報をいつでも提供できるようにします。



② 次年度の「こうなりたい」という状態を決める

次年度に「うちの団体はこうなっていたい」という理想の状態・成果を決めます。

抽象的な状態から、数字や言葉で具体的に表現できる状態にまで明確にしていきます。



③ ②で決めた状態になるために、達成すべき目標を決める

「これを成し遂げないと、理想の成果は得られない」という目標値を定めます。例えば、「〇〇のイベント参加者が年間のべ〇名」といった具合です。「〇〇海岸にゴミが一つもない状態」という状態で表してもよいでしょう。これを結果といいます。



④ ③で決めた結果を得るために、やるべきことを決める

③で決めた結果を得るために、「これぐらいの仕事をこなさないといけない」というやるべきことを決めます。例えば、「イベントでのべ〇人の参加者を得るには、〇回は開催する」といったように決めていきます。



⑤ ④で決めたやるべきことに、担当者、予算、スタッフなどの投入するエネルギーを決める

④で決めたやるべきことに、最低限、だれを担当者にするかを割り付けていきます。いくらぐらいの予算をかけるのか、何人ボランティアやスタッフが必要なのか、そういった資源の投入量もこの段階では目分量でよいので決めてしまいます。



⑥ 全体を見渡して、計画に過不足がないかを確認する

①～⑤で大まかな計画ができるので、その全体を見回して、状態・成果を得るために漏れている結果がないか、結果の部分は今書いているやるべきことだけで達成できるか、それに過大に（または過少に）資源が投入されているところはないか、を見つけて修正します。

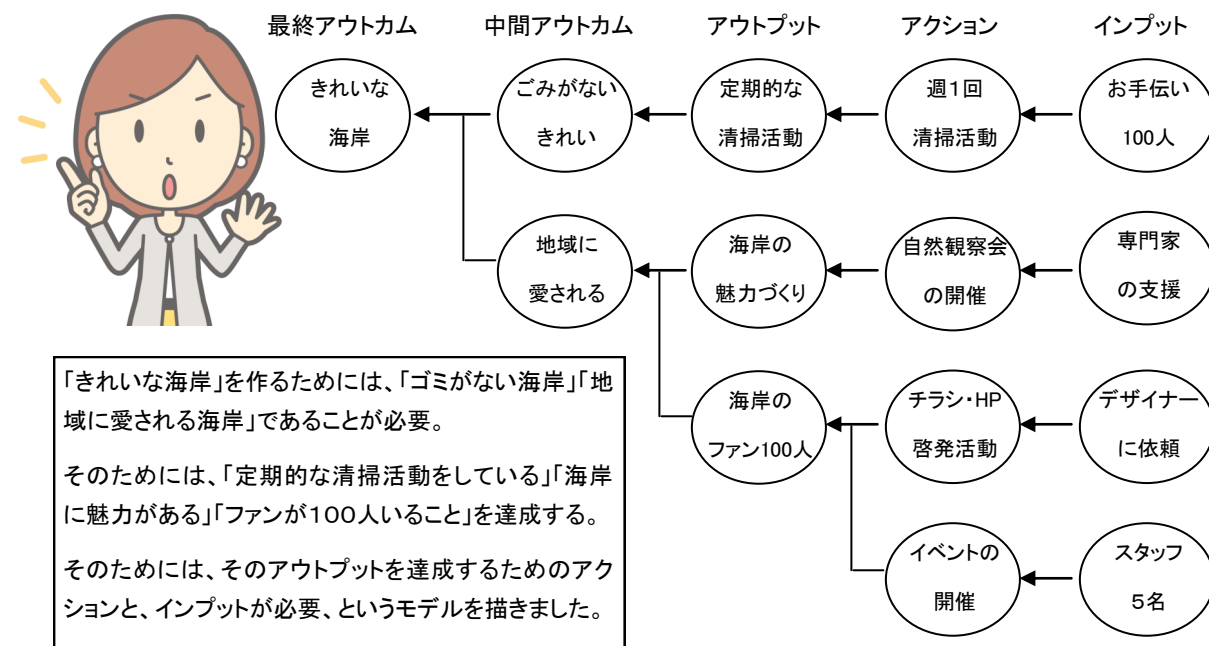
修正作業が終われば、計画の作成は終了です。お疲れ様でした。

ロジックモデルって何？

前ページのような考え方で計画を作成する思考方法を「ロジックモデル」といいます。

これは、「得たい状態・成果(専門用語でアウトカムといいます。以下同じ)」⇒「得べき結果(アウトプット)」⇒「やるべき行動(アクション)」⇒「投入する資源(インプット)」と、最終的に欲しいものから逆算して計画を立てるやり方です。ただし、今回紹介する方法は、使いやすいようにアレンジを行っています。

● 海岸清掃活動をイメージしたロジックモデルの例



ロジックモデルの優れている点は、アウトカムとアウトプットを分けている点です。これにより、「やったこと」と「得られた状態」が区別され、「やることはやったけど、それが期待通りの成果を生み出したのか」をあらかじめ検討することができます。

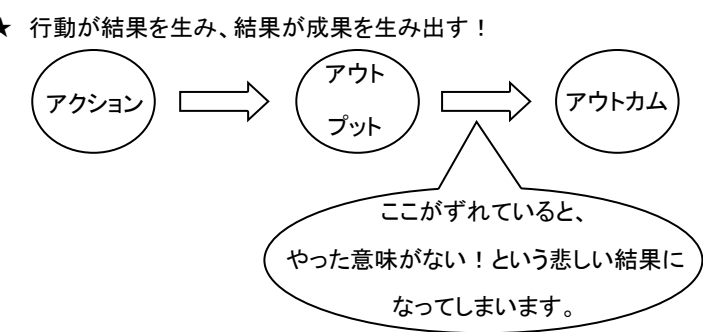
例えば、「〇〇啓発のためにチラシを5000枚作って配布する。」という事業をするとき、次のように分解して考えます。

アウトカム: 〇〇の啓発

アウトプット: 5000枚のチラシを拡散させる

アクション: チラシを作って配布する

このとき、5000枚のチラシを作って配布することで、本当に〇〇啓発という目的が達成できるのかに焦点を当てて考え、必要なら部数を変更したり、別の手段を付け加えたりするのです。



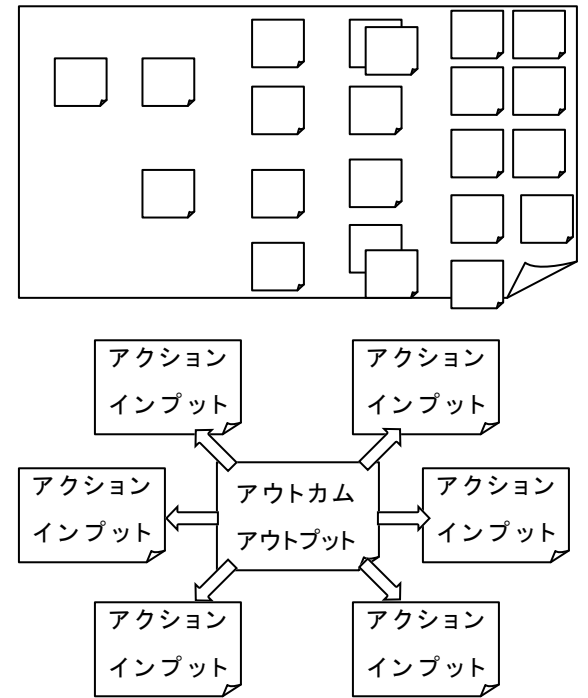
具体的にロジックモデルを作るには？

【用意するもの】	【所要時間】
1. 会議室(広くて机といすがある部屋)	☆ 簡単な計画を作るなら 4時間程度
2. A3版から模造紙程度の紙	☆ しっかりとした計画なら 8時間程度
3. ふせん(75mm正方形のもの)	☆ 詳細な計画を作るなら 2～3日程度
4. 鉛筆かボールペン	
5. お菓子と飲み物	

【進め方の例(しっかりした計画のとき)】 ※3ページの「段取り」をご覧ください。

1. 団体のビジョンと、今のミッション、そして現在の活動状況を把握します。(20～30分)
2. 来年中に実現したい最終アウトカムを1つ決めます。(20～30分)
3. 最終アウトカムを実現するための中間アウトカムをいくつか決めます。(60分～)
4. 中間アウトカムを実現するために必要なアウトプットをいくつも決めます。(60分～)
5. アウトプットを実現するためのアクションをできるだけ詳細に決めます。(120分～)
6. アクションに必要なインプットを決め、その調達方法を考えます。(120分～)
7. 全体を見直して、修正を行います。(20～30分)

【ふせんと模造紙の使い方】



模造紙全体で1つのロジックモデルを作ります。まずは決めること1つずつに対して、みんなが意見をふせんに書いて模造紙に貼りつけ、協議を行います。

協議の結果、採用されたものをロジックモデルを構成するパーツとして残し、今度はそれについて次のステップを踏んでいきます。これを繰り返します。

アクションとインプットを貼りつけるスペースがないときは、新しい模造紙を追加していきます。

最終的には、アウトカムとアウトプットがまとめられた模造紙1枚と、アウトプットを実現するためのアクションとインプットがまとめられた模造紙複数枚ができると思います。

これが事業計画になります。